

# 局所的な水平方向不均質が伴った球対称 TI 媒質に対する計算手法の定式化およびその応用

## DSM calculation of synthetic seismograms for TI spherically symmetric media with local lateral heterogeneity and their application

# 河合 研志[1]; 竹内 希[2]; グラー ロバート[3]

# Kenji Kawai[1]; Nozomu Takeuchi[2]; Robert J. Geller[3]

[1] 東大・理・地球惑星; [2] UC Berkeley; [3] 東大・理・地球惑星科学

[1] Earth and Planetary Sci, Univ. of Tokyo; [2] UC Berkeley; [3] Earth and Planetary Science, Tokyo Univ

<http://www-solid.eps.s.u-tokyo.ac.jp/>

私たちは球対称 TI 媒質に対する「ほぼ正確な」表面波と実体波の両方を計算できる手法およびソフトを開発した(河合ら, 2003)。そこで本研究では、局所的な水平方向不均質を考慮した計算手法に摂動近似を用いて拡張する。また、予備的研究として D' 層の異方性構造を波形インバージョンを用いて推定することを考えている。推定された異方性構造の情報は地球内部のダイナミクスやレオロジーの理解に役に立つであろう。